

法語に聞く―浄土真宗のこころ

唯除くただのぞくということば

都呂須孝文とろすこうぶん

あるご法座で、「第十八願に、十方の衆生しゅじょうすべて救うと誓われてあるのに、なぜ最後に五逆の者と正法しょうぼうを謗そしる者を除く、と但書ただしがきがあるのでしょいか」という質問を受けました。

第十八願のご文とは、

たとひわれ仏ぶつを得たらんに、十方の衆生、至心信樂しんしんぎょうして、わが国くにに生しょうぜんおもと欲ほひて、乃至十念じゅうねんせん。もし生ぜずば、正覺しょうがくを取らじ。ただ五逆ごぎやくと誹法正法ひほうしょうぼうとをば除く。

という阿弥陀仏の誓いがあります。

ひらたく申せば、十方よろずの衆生（生きとし生けるすべてのもの）にむかって、必ず救うと私の誓いのまことなるを疑いなく信じて、わが浄土に生まれることができるとおもい定め、たとい十遍の念仏でも申しておくれ、もしそのようにして浄土に生まれることができないうならば、私は正しく目覚めたもの・阿弥陀仏のなりますまい。ただ五逆の罪をつくり、仏法の眞実性を否定しつづけるものは、その救いから除く、という慈愛をこめた誓願であります。

五逆の罪とは、父を殺し、母を殺し、阿羅漢あらかん（聖者）を殺し（師弟道を無視するような行為）、和合僧わごうそうを破し（僧伽そうぎやを分裂させるような行為）、そして悪意をもって仏身から血を出す（我身をつのって仏の意を傷つける行為）という、受けた恩に対して逆らう罪をいいます。

また正法を誹謗するとは、仏とその教えの眞実性を否定することでありま

す。

親鸞聖人は、ご消息の中で、

善知識ぜんじしきをおろかにおもひ、師をそしるものを謗法ぼうぼうのものと申すなり。おやをそしるものをば五逆のものと申すなり。

と身近にあることとして語られています。

要は、第十八願文に、十方よろずの衆生と呼びかけながら、ただ五逆のものと誹謗のものを除くとあるのは、仏さまの救いに、やはり条件がついてあるのではないか、というのが質問された方の不審であったのでしよう。

*

*

そこで、およばずながら助言させてもらいました。

『注釈版聖典』をお持ちの人は、六四四頁を開いてください。終わりから四行目、ゆいじよじぎやくひほうしやうぼう唯除五逆誹謗正法といふは、唯除といふはただ除くといふことばなり、五逆のつみびとをきらひ、誹謗ひほうのおもきとがをしらせんとなり。このふたつの罪のおもきことをしめして、十方一切じつぼういっさいの衆生みなもれず往生すべしとしらせんとなりとあるでしょう。ただ除くではなく、**へただ除くといふことばなり**といわれてますね。除くという心ではなく、除くという言葉なのです。それは、五逆ごぎやくと謗法の罪の重きことを知らせるためであり、そして十方衆生一人ももれずに往生しておくれという願心を知らせるための言葉なのです。唯除というのは、条件をつけられたものではありませんよ」と。

*

*

八月十三日より三日間は関西ではお盆です。毎年お盆の間は、せみ蟬など昆虫類を獲ってはいけない、殺生するなど祖父に言われていました。ところが、私が小学二年の時、その戒めを破って、祖父がお盆参りに出かけている間に蟬やトンボを獲っていたのを見つけられ、土蔵の中に入れられました。これ

は母が懇願こんがんしてくれてやっと許してもらいました。

その翌日の十四日の晩ごはんのおかずは、ご門徒さんからいただいたという秋刀魚さんまの焼きものでした。しかし、私は食べませんでした。不審に思った祖父が「お前、なぜ食べないのか」と聞くので、ここぞばかりに「お盆中は殺生してはいけないのと違いますか」と言ってしまったのです。祖父は一瞬たじろぎました。その時、母は、私の手を握るなり炊事場にあった井戸端まで引っぱって行って、そこで私を抱きかかえ、「あんたのような子は、井戸の中に放りこみます」と行って、今まさに投げこまればかりの勢いであったのです。私はわけが判りません。ただ、昨日の一件もあり、生意気にも祖父に逆らうとは許さないという思いが母にあったのかもしれませんが、祖父は、「そこまでしなくともいい、それより誤って落としたらどないするんや」と援護してくれましたが、母は、「いいえ、今日という今日は、井戸の中にこの子を放りこみます」と言い張ります。しかし、「放りこみます」と言っているのに、母の手は、私を放すまいと必死です。母の目は涙で一杯です。結局、二度と祖父に口答えするのではないよと、無事釈放してくれました。「放りこみます」という言葉の心は「おじいちゃんを困らせるようなことをしてはいけないよ」ということだったのです。「放りこむ」というのは、「捨てないよ」ということであつたのです。

いま、第十八願文の「唯除」も、「皆救う、救うけれど、五逆と誹法は、罪の重いことだから、これだけはするなよ」という大悲のお言葉だったのであります。